

語学派遣研修

武漢大学 岩戸 千菜津

所 属

企画部文化国際課国際化推進室

派 遣 期 間

平成28年9月～平成29年8月(1年間)

派遣レポート

今年の9月より、1年間の語学派遣研修生として中国湖北省武漢市にある武漢大学に留学しています。

学校生活についてですが、武漢大学は総面積約514万㎡あり、とても広く構内にはバスが走っています。学生は約5万6000人在籍しています。敷地内には寮があり学生のほとんどが住んでいます。また、銀行や、小規模のスーパーマーケット、食堂も何カ所もあり、生活の上で困ることは少ないです。

クラスは、初級、中級、高級とあり、それぞれⅠとⅡに分かれています。私のいる初級Ⅰのクラスは発音からしっかりと習うことができ、雰囲気も良いです。クラスには30人の生徒がいますが、フランス、トルコ、韓国、ベトナム、オーストラリア、ルワンダなど計17カ国から来ており、国際色豊かで授業に行くのも楽しいです。説明会での話だと、今年は約600人の留学生在が入学しているそうです。

武漢大学には現在、日本人が18名いますが、クラスには私一人なので、英語や習った言葉を使いながらクラスメートと会話をしています。

来た当初は中国語を話すことも、理解することもできませんでしたが、簡単な会話であればできるようになりました。また、当初は人や車との距離感の近さに驚くこともありましたが、今では気にならなくなりました。来年の8月まで引き続き武漢で生活をしていきます。

最後に、武漢市と大分市はこれまでも経済、スポーツ、文化、農業など様々な交流をしてきましたが、活発な交流がこれからも継続できるよう、たくさんのことを学び、大分市に戻ってからも学んだことを繋いでいきたいです。



クラスの風景(写真中央Vサインが私です)